

何を使う

機器 パソコン、スマートフォンまたはタブレット

ソフトウェア（アプリ）

特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)



それをどう使う（それで何ができる）

- ・マーケティングの授業において、商品の「ネーミング」を考えさせる際に、現在登録されている商標を調べ、自分が考えた「ネーミング」が商標登録されているかを確認する。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

高校 商業 マーケティング

【 Before 】

- 生徒個々が、思いついた名前を商品につける。



【 After 】 **メリット**

- プラットフォームを利用することで、生徒が考えた名称が使用されているかを、個々で確認することができる。
- 現在使用されている商標を知る活動から、名称を付ける重要性を学び、名称を使用する権利及び著作権等の侵害についての学習が可能となり、深い学びにつながる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他		学習 場面	一 斉	個 別	協 働
	○	○	○				○	○	○
	学習場面に応じた台数（提示のみ1台、グループ学習はグループ数、個人検索であれば各自）								
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続		○	1人1台端末		
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		商業・マーケティング		
			○		活用が想定される場面		調べ学習		